



皆様の「快適な暮らし」のヒントに

すまい造りメール

第274号 2025年1月号

SINCE 2002.4.1.



発行日令和7年1月1日
発行元有限会社佐野工務店
〒237-0068
横須賀市追浜本町1-25
TEL 046(865)4010
FAX 046(865)6139
<http://www.sano-knet/>
info@sano-k.net



謹賀新年

申し上げます

よろしくお願

ご愛顧の程

これからも倍旧

申し上げます

謹んでお慶び

新春を寿ぎ



あっ、住みから住みまで、すずすう〜と、
お願いたてまつ〜る



日頃よりご愛顧を賜りましてありがとうございます。また、「すまい造りメール」をご覧いただきまして、重ねて御礼申し上げます。

皆様におかれまして、2025年が素敵な一年になりますことを心よりお祈り申し上げます。



「感謝の気持ち」を忘れずに

2025年の弊社の取り組みは、「住み続けられるまちづくりを」を目標として、「感謝の気持ち」を忘れずに、引き続き社会状況の変化に対応しながら作業を進め、皆様の個性的なライフスタイルに合わせたご満足いただけるような最適なプランを提案させていただきます。そして、皆様の「夢の実現」に微力ながらお手伝いさせていただきます。

「すまい造りメール」では、住まいに関する情報はじめ、地域に密着した新鮮な情報や楽しい話題を提供できるように心掛けます。また、いろいろな意味で双方向型のコミュニケーションを模索していきます。

「よこすか文学館」の欄では、横須賀が登場する文芸作品（漫画も含めて）や、横須賀に縁のある文学者を紹介します。中古、中世の物語文学を中心に研究されている中島正二氏に引き続き執筆していただきます。

「横須賀ストーリーズ」の欄では、横須賀市のまちづくりの取り組みなどについて井上吉隆氏に引き続き執筆していただきます。

「前略 おせわ様。その後いかがお過ごしですか。」の欄では、弊社が担当した施工事例をわかりやすく説明させていただきます。

これからも、皆様の「快適な暮らし」のヒントやサポートとなるような取り組みを続けて参ります。

11 住み続けられるまちづくりを



皆様のご愛顧、ご愛読に感謝申し上げます
創業 1960.1.20. Next100
創刊 2002.4.1.

ローカルニュース 地域情報

三浦半島周辺で開催されるイベントや地域情報等を紹介します。



◆たかのてるご講演会

2月22日(土) 14:00〜
(開場13:00)

人と比べて自分をイジメず
自分を好きになろう♪

こころの健康
スペシャル講演会
生きるって、なに？

横須賀西行政センター 3F
(横須賀市長坂1-2-2)
〈主催〉西地区育成推進委員
(長井・大楠・武山)

〈後援〉横須賀市

「世界中の人と仲良くなれる!」と信じ、7大陸・70カ国を駆けめぐり、その旅の経験をもとに「生きてるだけでめっちゃ頑張っている自分をほめちぎって、愛いっぱい生きよう!」と呼びかけます。全国の自治体や学校での講演会も満員御礼で大人気です。入場無料。

◆お申し込みはQRコード



または電話 (留守電対応)

☎ 090-3891-3299

詳細はホームページを参照

<https://takanoteruko.com>

エコプロ

環境に配慮した製品や技術を集めた展示会「エコプロ2024」（日本経済新聞社などが主催）が2024年12月4日(水)～6日(金)の3日間に亘り、東京ビッグサイトで開催されました。再生可能エネルギーに関する新たな技術や、廃棄物を日用品などに有効活用する取り組みが紹介されていました。

エコプロは環境や自然災害対策などの総合展示会 **SDGsWeek EXPO** の中の一つで、その他に、脱炭素化に貢献するテクノロジーやソリューション、新たなビジネスモデルを紹介し、温暖化ガス低減と経済的な成長を両立させる「グリーン成長」を後押しする **カーボンニュートラルテック**、気象災害、地震、津波などの自然災害対策を展示範囲に、災害時用機器や備品などの調達、被害状況の検知など防災・減災に関わる様々な情報を発信し、気象データのビジネス活用など、新ビジネス創出に関する取り組みを紹介する **自然災害対策展 社会インフラテック**、課題となっている廃棄物問題や気候変動問題に加え、世界的な資源需要の増加と地政学的なリスクの高まり、消費者や投資家による環境配慮要請の高まりを受けて、循環経済型ビジネスを紹介する **サーキュラーパートナーシップEXPO** のそれぞれの区画に企業や大学、NPOの団体などがそれぞれブースを設けていました。

最近では、小学生や中学生が社会見学の一環として、それぞれのブースを数人のグループで訪れて、熱心にメモを取る姿を多く見かけるようになりました。未来を担う子供たちが「環境」について考えるきっかけになっているようです。

その中のブースの一つで独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構（JOGMEC）では、地球内部から発する熱エネルギーである地熱を利用して蒸気でタービンを回し発電する地熱発電について紹介していました。地球温暖化の原因といわれるCO²をほとんど排出しないため、地球にやさしく、資源がなくなることなく、海外からの輸入に頼ることなく、国産で賅えることで注目されています。アメリカ、インドネシアに続き、資源量が第3位の世界有数の火山国である日本にとって、地熱発電は大きな可能性を持っています。現在、北海道から九州まで全国に100カ所の地熱発電所があります。しかしながら、地熱発電所は、すでにある温泉施設や近隣の住民など「地域との共生」が大きな課題となっています。



今年は12月10日(水)～12日(金)に東京ビッグサイトで開催されます。（参考資料「日本経済新聞」）



よこすか文学館

[109]

横須賀が登場する文芸作品（マンガも含む）や横須賀に縁のある文学者を紹介します。

『ハイスクール・フリート』

『ハイスクール・フリート』は2016年4月から放送されたアニメです。国土水没により海上都市国家となった日本の、海上保安に従事する女性の職業「ブルーマード」の養成機関である「横須賀海洋女子学校」を舞台とするアニメで、入学早々の生徒たちが乗り込んだ教育艦「晴風」の多難な訓練航海が描かれていました。放送後も、OVAが発売され、劇場版映画が公開されました。また、テレビや映画を補完するマンガ『はいふる』（既刊全11巻）、『ハイスクール・フリート ローレライの乙女たち』（既刊全3巻）および小説『ハイスクール・フリート いたるる』（既刊全2巻）、『ハイスクール・フリート あらいばるる』（既刊全1巻）があります。

（洗足学園中学高等学校教諭 中島正二）



「はいふる」
『ハイスクール・フリート
あらいばるる』
(KADOKAWA)

「よこすか文学館」のシンボルマークは芥川龍之介の小説「蜜柑」が由来です。文学碑はその舞台となった踏切の近くの吉倉公園にあります



お問い合わせ

住まいに関する皆様の疑問や質問、お知らせしたいことや情報などがございましたら、ご連絡ください。郵送の停止を希望される場合や、バックナンバーを希望される場合など、ご遠慮なく、お申し出ください。

尚、ホームページより「**すまい造りメール**」創刊号からのバックナンバーをはじめ、追浜周辺の地図「Oppamap 2025」A-9歩ZONE版（永久保存版）をBlog「Oppamap2025」よりダウンロードすることができますので、是非ご利用ください。

皆様の「快適な暮らし」のヒントになることができましたら幸いです。

〒237-0068 神奈川県横須賀市追浜本町1-25 有限会社佐野工務店
TEL 046(865)4010 FAX 046(865)6139

すまい造り

検索